

学

年

通

信

令和3年10月号
3学年発行

むやみに他人と比べず、しっかり前に進む！

朝晩はめっきり涼しくなり、過ごしやすい季節になっていますが、体を冷やして体調を崩したりせず、元気に学校生活を送って下さい。最近では若者のワクチン接種もだんだんと進んでいるようです。皆さんもワクチンの副反応に耐え頑張っているようですが、早くコロナが終息することを願っています。

さて、就職試験も終わり企業から合格の通知を頂きホッとしている生徒の皆さん、入学試験を終え結果をドキドキして待っている皆さん、またはまだ何も終わらず試験の準備に追われている皆さん、いろいろです。とにかく自分の人生、むやみに他人と比べず、しっかりと前に進んでください！焦りは禁物です。10月は100周年記念式典や2学期中間考査などの大切な行事があります。しっかり切り替えて学校のリーダーとして頑張ってください。

自動車学校の通学については、近々生徒指導より詳しく連絡があります。また保護者あての文書も配布されます。しっかり確認し、ルールを守って通学してください。

【就職試験激励会のようす】



【今月の目標】

- 進路実現
- 試験勉強
- 感染予防

【今月のおもな予定】

3日(日)	体験入学	18日(月)	生徒休業日
7日(木)	創立100周年記念式典リハーサル(3~6限)	24日(日)	全商会計実務検定
8日(金)	創立100周年記念式典	26日(火)	社会人マナー講座
12日(火)	2学期中間考査 (~15日)		

【今月の人】 史上最強横綱白鵬の生い立ち

大相撲で活躍していた同じモンゴル出身の旭鷲山をつてに、2000年10月25日に6人のモンゴル人と共に来日、しかし小柄(当時身長175cm、体重68kg)だった白鵬を受け入れてくれる部屋は最後まで見つからなかった。その失意の帰国前日12月24日、彼を哀れんだ旭鷲山が自らの師匠に相談し、宮城野(元幕内・竹葉山)の入門がかなえられた。当時の宮城野部屋は弱小部屋だった為に厳しいしきたりも少なく、育ちの良い白鵬には伸び伸びとやれる環境で結果的に良かったのだとされる。こうして角界入りとなるものの、部屋の先輩力士に「若くてすらっとしている子」という条件で連れてこさせた少年を見た10代宮城野は、父親の実績(モンゴル相撲元横綱)を知る由もなく、その小柄な体から大きな期待はしていなかったといい、自らも小さな体で苦勞して幕内まで昇進したので「若いから、何とかなるだろう」程度に考えていた。しかし一方で、大きな手足と腰、柔らかい筋肉などから、もしかしたら化けるかもしれないと思い、入門してからの2か月間は稽古をさせず、毎日吐く程に食べさせ、牛乳を飲ませた。

彼はその後、心身ともに大きく成長し大横綱となっていった。(令和3年9月現役引退を表明)